



見沼のほとり

第 10 号
令和7年1月7日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

新年を迎えるにあたって

校長 金子 慎一郎

令和7年（2025年）がスタートしました。本年もよろしくお願いいたします。令和6年は元日に能登半島地震が発生し、さらに9月21日に線状降水帯が発生し、激しい雨が短時間で集中して降り続き、珠洲市、輪島市、能登町に「大雨特別警報」が発表されました。当該地域では「避難指示」が発令され、多くの方が避難所にて一夜を過ごされました。地震や豪雨により被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、令和7年が皆様にとっても穏やかな年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

さて、私は4月の「見沼のほとり」で生徒の皆さんに大切にしてほしいと思っていることが3つあると伝えました。それは「あいさつ」、「心遣い」、「笑顔」です。「挨拶」はコミュニケーションの基本になり、「心遣い」は人や周囲に対しての心遣いであり、「笑顔」は周りの人も明るくしてくれるからと紹介しました。今年もこの3つを土呂中学校の生徒として大切にしてほしいと思います。



話は変わりますが、先日地域の自治会の会長さんとお話をする機会がありました。土呂中学校のこともよくご存じで、学校から要望があれば協力をすると力強いお言葉をいただきました。そこで、本校の生徒の登下校に利用している道路について、外側線が薄く消えかかっている場所があり早速自治会長さんが区役所に向いて外側線を引くように要望していただきました。学校も必要書類を作成し提出した結果、12月末までに対応してくれると連絡があったそうです。生徒の安全を考えると迅速な対応が出来て、感謝申し上げます。学校は地域の方々に見守られていると改めて感じた出来事でした。



学校では今日から3学期がスタートします。1月中に2年生は自然の教室があり、1年生は浅草方面への校外学習が計画され、そして3年生は私立高校の試験が予定されています。自然の教室では福島県の南郷スキー場へ出かけますが、今シーズンはすでに積雪が100cmを超えて全面滑走可能だそうです。例年より雪が多くとても良い状態だそうです。初めてスキーで滑る人も山の上まで行けるかもしれません。晴れていれば「南郷ブルー」と言われる青空が広がって、素晴らしい景色も見るができるかもしれません。1年生は初めての班による校外学習になりますので、しっかり計画を練って安全に見学ができることを期待します。3年生はこれから入試に向かって追い込みの時期になります。風邪等にかからないように健康管理をしっかり行い、自分の力を信じて持てる力をすべて発揮してほしいと思います。

生徒たちには2学期終業式で災害時に自分ができることを考えるように話しました。3学期も生徒、保護者、地域の方々の願いを受け止め「チーム土呂中」としてがんばりたいと思います。引き続き本校教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。